



7/3(金) 映画鑑賞「蔵のある街」

体育館で「蔵のある街」の上映会が行われました。体育館には、大きなスクリーン、本格的な音響、プロジェクターが設置され、まるで映画館のような雰囲気でした。映画には、沙美海岸をはじめとする倉敷の美しい風景がたくさん登場しました。地域の伝統や文化財の大切さ、家族や地域社会の絆、そして、思いやり、協力の大切さも描かれていました。

また、上映後には、心温まるすばらしい姿がありました。「何かお手伝いできることはありませんか」と声をかけたり、状況を見て「カーテンを開けてきます」と動いたり、積極的に片づけをする姿がありました。この様子を見た映画上映の実行委員の方々も、「すばらしい生徒さんたちですね」とお褒めの言葉を頂きました。これからも様々な場面で皆さんの主体性と優しさが発揮されることを楽しみにしています。



＜あらすじ＞

岡山県倉敷市に暮らす高校生の蒼と紅子と祈一は、小学校からの幼なじみ。ある日、蒼と祈一は、紅子の兄で自閉スペクトラム症のきょんくんが神社の高い木の上で叫んでいるところに遭遇する。幼い頃に家族で見た打上花火を見ているというきょんくんを木から降ろすべく、蒼は花火を打ち上げる約束をするが、それを聞いた紅子は怒鳴り立ち去ってしまう。後日、紅子から家族の思い出を聞いた蒼と祈一は、きょんくんと約束を果たそうと奔走する。

7/6(月) 弁論大会「インクルーシブ」をテーマに深く考える

7月6日(月)に、弁論大会が行われました。今回のテーマは「インクルーシブ」。正解が一つではない大きなテーマに、生徒一人一人が真剣に向き合い、自分の考えをまとめました。当日は、クラスの発表会を経て、代表となった8名が発表しました。人前で自分の思いや考えを語る緊張感の中、それぞれの弁士が実体験をもとに、堂々と発表することができていました。

また、弁論を聴く生徒たちも、一言一言を自分自身の問題としてしっかりと受け止め、大きな刺激を受けていたようでした。発表者と聴き手、運営が一体となったすばらしい大会となりました。この経験をこれからの学校生活や社会への視野を広げるきっかけにしてほしいと思います。

氏 名	演 題
	素敵
	修学旅行から学んだこと
	これから創るインクルーシブ
	自分のままで
	共に生きる
	らしさ
	小学校生活で学んだこと
	自分らしさを見つけるまで



もう一度確認！安全な登下校のために！

学校生活にも慣れてきた今だからこそ、また、もう少ししたら夏休みを迎える今だからこそ、もう一度交通マナーを引き締めてほしいと思います。皆さんが、事故なく、笑顔で登校できることが何より大切です。

次のポイントを必ず確認してください。

①校門を出たところで「ふくらまない(広がらない)」ようにしましょう。

後ろから車や自転車が来ることもあり、大変危険です。門を出る一歩前から「一列」を意識しましょう。

②車道を横切らないようにしましょう。

車道を横切ることは大変危険です。運転手さんもびつくりしてしまいます。

横断歩道まで行き、左右の安全確認を行ってから渡るようにしましょう。

③基本の「左側通行」を守りましょう。

